

## 早さに勝るものなし

早さに勝るものなどありません。今年は、コロナの影響で、都立推薦の出願が早まるなど、全体的に動きが早まっています。だからどんどん準備する。都立高校の願書をこの時期に配布したのも、早く準備を整えるためです。

昨日の発表で、新型コロナウイルスの東京都における1日の感染者数は800人を超えました。また今後、どのように推移していくのか分かりません。先の見えない今だからこそ、早めに準備しておけば安心です。ですから、次のことを踏まえて、残りの1週間準備を進めていきましょう。

### ① 出願書類をそろえる

出願のために必要な書類づくりを進める必要があります。特に私立を受験する生徒にとっては、早めに準備を進めましょう。担任の先生に作成をお願いしなければならない書類(調査書や推薦書等)があれば、必ず冬休み前に担任の先生に提出しておきましょう。

### ② 自己PRカードに取り組み

冬休み前に下書きまで完成させましょう。書いたら、ぜひ先生方に見せてください。適宜アドバイスをしたいと思います。冬休みに清書をして完成させる予定でいきましょう。

### ③ 面接の練習に取り組み

面接練習がほぼ終わりに近づいています。そこで、はっきりと分かった問題点は「準備不足」です。自己PRカードを中心に、きちんと受け答えができるようにさらなる練習が必要です。時間を見つけてどんどんやりましょう。先生方も協力します。

### ④ ひたすら勉強に取り組み

そして、なんといっても学力を高めるために勉強を頑張る必要があります。しっかりと目標を立てましょう。そして、強い意志をもって取り組むことです。合格のために必要な数字はもう明らかです。進路を切り開くためには、やるしかないということです。

※ 自己PRカードの作成について

- ・ 本日18日(金)より25日(金)まで、朝の時間 7:45~8:15 の間に教室を開放して、自己PRカードの作成に取り組む時間としたいと思います。希望者はぜひこの時間を有効に使ってください。(※朝早く登校できる生徒は、自己PRカードに取り組む人のみです。)

※ 作文・小論文対策については、来週に資料を配布します。お待ちください。

## 来週の予定

日にち		予定		時間割						備考
21日	(月)	A	中学校朝礼	学	②	③	④	⑤	⑥	
22日	(火)	A		②	①	③	④	⑤	⑥	
23日	(水)	A		①	②	③	④	総		
24日	(木)	A		②	①	③	④	⑤	道	
25日	(金)	40	全校朝礼・午前中授業	学	①	③	④	⑤		給食あり 13:30 下校

### 今週の格言

冬がなければ、春をそんなにも気持ちよく感じない。私たちは時に逆境を味わわなければ、幸福をそれほど喜ばなくなる 【シャーロット・プロンテ(イギリスの小説家)】

# STTライティング ～わかる (see) ・考える (think) ・伝える (tell)～

## テーマ 「芸術・経済」

人気作品の影響でグッズ作品の転売や複製品が増え、著作権の侵害にあたり逮捕される事件が多発した。  
～関心をもった理由～

いち、ものづくり者として著作権を侵害されることはこたえるものがある。今後の動きに興味があった。  
～私の意見～

人気作品の知名度や人気にあやかってグッズ作品を多く販売することはよくあることである。人気作品は知名度が高い。よって売られている商品に手を伸ばす人が多い。また、アプリケーションソフトウェアの発達に伴って転売が増えている。近年では転売ヤーという言葉がニュースでも聞くようになったほどだ。さらに、転売の他に複製品、いわゆる偽物を販売し儲かる事件が現れるようになった。最近この事件が多発している。著作権法違反と商標法違反に該当する。これに拍車をかけたのは海外にも人気が高い、「鬼滅の刃」である。爆発的人気を手にし、その影響力は目を見張るものである。

つまり、私が言いたいのは権利を侵してはならないということである。自分が創り出したものを、真似をされたら誰だって良い思いはしないであろう。ただこの事件の厄介なところは第一の目的として金儲けであるという点なのだ。誹謗中傷などはその人の心のありようでも変わりようがある。だが、単なる金儲けは誰も傷付かないのである。いや、大切な自分の権利を侵害された人は傷つくであろうが取り締まりを強化すればいいだけであって、故に事件が無くなることは低いのである。アプリケーションソフトウェアの警備の強化や著作権を侵害されないために法律を変え、対策と呼べるものを作らなければならない。時代の変化に伴い私たちの価値観も変化する。柔軟な考えを持ってこれに対処していく必要があると思う。

## テーマ 「情報」

### 情報を呑む

～関心をもった理由～

情報社会、と聞いたらインターネットを思い浮かべるだろう。さてあなたはどれだけ情報を管理し、評価し、自分の体内に入れることができているだろうか？

～私の意見～

以前もこのSTTライティングで似たようなことを書いたが今回は国という大きな枠組みではなく、ほかのことにも視野を広げて、俯瞰してみたいと思う。

最近ではコロナに関する報道や情報が活発に行き交う中で、僕たちは情報の大切さというものを再認識させられている。確かに、情報は武器であり、ときにはとても大きな力となる。僕たちの生活に欠かせないものである。現代では誤情報やフェイクニュースといった、責任のない情報が行き交ってしまうことがある。僕はニュースもそれに近いものではないかと考えている。

僕らはニュースに依存しすぎているといっても過言ではないと思う。実際そうであろう。ニュースで見たものを、正確な情報としてそのまま鵜呑みにしてしまっている。確かにニュースは正確であるといった方が正しいのかもしれない。だがその中では必ず何かが隠れている。ニュースの業者が知られたくないもの、国にとって不利なもの、報道するものに値しない小さな情報などなど、様々な情報が埋まってしまうのが現状である。これはニュースだけの問題ではない。例えば、尊敬する人、両親、先生から教わっている情報は果たして本当だろうか。それは人である以上間違いは起こる。国語の授業で学んだ「批評の言葉」というものがこれからの情報社会の中でカギになってくると、僕は考えている。しっかりと情報を自分から判断し、人と共有すること。今まで僕が書いてきたことはどれも当たり前のようなことだが、その当たり前のことがあなたはどれだけできていますか？